

## 第 16 回 明治大学 くればす (第 35 号)

明治大学唯一の公認環境ボランティアサークル”くればす”が結成されて 6 年がすぎました。数名だった部員も、現在では 70 名を超え、今なお新入部員を増やしつつあります。同時にサークル内の企画数も増加し、活動の幅が広がっています。そんな”くればす”の部員の根底にあるのが「一つの価値観にこだわらない」精神です。現在も各部員が「環境」「国際協力」「福祉」「教育」などの各方面に自発的に、楽しく参加しています。

《フェアトレード》…一杯 330 円のコーヒーで生産者への利益はたったの 3~9 円。そんな不公正な貿易事情の打開に少しでも力になればと活動している企画です。大学の売店「明大マーケット」へのフェアトレード商品販売の導入、フェアトレード映画の上映などを行ってきました。

《スワンベーカーリー》…校内で週 1 回、障害者の方が作ったパンを他のサークルと合同で販売しています。普段の学校生活ではふれあえない方々と交流でき、達成感を一番に感じるこのできる企画です。

《eco ども》…児童館の子どもたちに環境教育を行い、子どもとともに環境を考え環境意識を高めていく企画です。児童館や学校へ赴き、紙に描かれた様々な種類のごみを「模擬ごみ箱」を使って分別のルールを学ぶ『分別ゲーム』等を行いました。

《明大前ごみ拾い》…明大駅前週 2 回、クレパス以外の明大生たちも共に、清掃活動を行っています。いつも自分たちの使っている道をきれいにできる気持ちのいい企画です。

《ゼロエミッション》…『ごみ排出ゼロ』を目標に活動している企画です。ペットボトルのキャップの有効活用を目指す「エコキャップ」、毎日大量に捨てられている紙の利用法を模索する「カミノシゲンカ」。常に新しいことに挑戦しています。

《フリーマーケット～fashion de eco～》…明治大学の文化祭である「明大祭」でのフリーマーケットを企画し、参加を学内に幅広く呼び掛けると同時にくればす自身も参加しました。商品はすべて完売。

《環境知識》…環境に関する知識をつけるとともに、サークル内の発言力、プレゼン力も身につけようという勉強会の企画です。目標は eco 検定全員合格!

《TFT(table for two)》…大学の食堂のメニューをヘルシーメニューに設定し、その一食分の代金に「20 円」上乗せし、その 20 円分を TFT 協会を通して貧しい国に送る国際協力。全国の大学学食、企業の食堂でも導入され注目を集めており、クレパスでも明治大学の食堂への導入を目指しています。

《カーボンオフセット》…明大祭の模擬店で使用された食べ物のプラスチックのケース代として商品に 2~3 円程度上乗せし、出た利益によって、排出された二酸化炭素を植林で相殺しようという活動。今回の利益は内モンゴル自治区の植林に使われました。

《山手アクション》…山手線沿線をみんなで楽しみながらごみ拾いし、美化&交流のどちらも達成できる一石二鳥な企画。「学校を超えた大勢の人に参加してもらいたい」との思いで、今年から外部にも声をかけ、48 の大学、短大、専門学校、高校から総勢 300 人余りが参加しました。2010 年にも開催予定!